

令和5年度

住吉小学校

5年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： 「西東京市から世界へ」
(活動名)

ねらい：
・東南アジアの山岳少数民族の暮らしについて知り、自分たちには何ができるかを考える。
・西東京市の一員として、地域にも情報発信し、協力をお願いしながら、支援や交流活動を計画、実施する。

【5月11日】『課題意識の芽生え』

NPO 法人シーエスアールスクエアの宍戸仙助先生に本校にいらしていただき、東南アジアの山岳少数民族の子どもたちの生活について教えていただきました。

お話を通して、自分たちも何か役に立つことができないかと今後の学習に向けて大きな課題意識をもつことができました。



【10月8日】『地域への発信』

これまでに聞いたお話や自分たちで調べた内容を整理・分析し、地域のルピナス会館で行われた催しで展示発表をさせていただきました。池澤市長をはじめ、多くの方に展示を見ていただき、感想もいただくことができました。



【9月12日】『新たな情報の収集』

本校の4年生の担任教諭が夏季休業日中にベトナムへ行きました。その時の様子を教えてもらいました。現地の人々の現状を広く伝えていくことが大切であるというお話をいただき、地域への情報発信の必要性やそれに向けた意欲を高めました。



【12月以降】『支援の実現』

主にベトナムの山岳少数民族の暮らしを知ることを通して、「募金活動で集めたお金で学用品を寄付したい。」「日本の昔遊びの紹介で楽しんでもらうのはどうかな。」など、少しずつ支援の案も出てきました。今後さらに自分たちができる支援の形を検討し、地域や保護者の方々にも協力を呼び掛けながら、支援の実現に向けて学習を進めていきます。

まとめコラム

学びの中で自分事として課題意識をもつことができた子どもたちの表情は輝いています。学習が進むにつれて「こんなことしてみたらどうかな?」「こんな風にしたら、地域の人にも興味をもってもらえるんじゃないかな?」と、どんどん案が出てくるようになりました。展示発表に対して地域の方からいただいたアンケートもとても嬉しそうに見ています。地域の一員としての意識も大切にしながら、人のために自分たちには何ができるかを探究しながら学びを深めていきたいと思えます。